艦載機は出て行け! 愛宕山米軍住宅反対！アジア米軍総撤収！
岩国基地強化に反対する１０・１６講演集会へ
参加・賛同のお願い

政権与党・民主党は鳩山、菅に続き、野田首相を登場させました。野田政権は、自公の旧政権勢力と連携し、普天間基地の辺野古移設など日米同盟の深化を基軸とし、復興・財政再建の大増税を打ち出しています。さらに福島原発崩壊・放射能被曝被害がとまらない中で、脱原発の流れを押しとどめ、原発の再稼動・海外輸出を主張する始末です。戦争と生活破壊・差別に反対する私たちの要求とは、真っ向から対立する新政権です。許すことはできません。

私たちは、職場、地域、全国、そして国境を超え、労働者民衆の現場から権利と連帯・団結の闘いを進めています。反原発・反核・被爆者解放、反戦平和・基地撤去・日米安保廃棄、貧困・失業など新自由主義グローバリズム反対、差別排外主義反対など、労働者・青年学生・市民の闘いや被差別大衆の解放運動、そうした取り組み・自己決定権への支援連帯や国際連帯はきわめて重要です。

とくに、沖縄の反基地闘争とともに、山口県岩国市民の岩国米軍基地強化に反対する取り組みは、反戦平和の重要な全国的闘争となっています。

山口県岩国市の岩国米軍基地は、米軍再編計画によって厚木基地の艦載機が移駐し、百機をこえる米軍用機が常駐する極東最大規模の米軍出撃基地になろうとしています。騒音・墜落など基地被害の軽減と称し、岩国基地を沖合いへ拡張し、滑走路をそこに移転し、その埋め立てのために近くの愛宕山を削って住宅地開発を進める話は、ウソッパチでした。岩国基地は逆に拡張強化され、愛宕山には米軍住宅建設という新たな軍事施設が浮上しています。

岩国市民の怒りが噴出しました。２００６年３月の住民投票でその９割が艦載機移転・愛宕山米軍住宅化に反対でした。その後、政府はアメとムチで岩国市民・井原市政を叩きまくり、基地強化容認派の市長を仕立てました。しかし、岩国市民は負けていません。１万人集会、基地沖合拡張反対の訴訟、爆音訴訟、愛宕山開発跡地の米軍住宅化を阻止する訴訟、そして座り込みが続いています。３・１１大震災後、「愛宕山を守る市民連絡会」は、開発跡地に米軍住宅ではなく、被災者支援用の住宅を求め、市や県に働きかけています。

岩国基地強化に反対する現地から、田村順玄さんを招き、講演集会を行います。岩国基地強化反対の闘いは、沖縄や神奈川の闘いとつながり、韓国・フィリピンなどアジア太平洋の米軍基地撤去の闘いと連帯し、日米軍事同盟に根底から反対しています。皆さんの参加賛同と岩国支援を訴えます。

「岩国基地の諸問題と闘いの報告」　講師：田村順玄さん（岩国市議会議員）

日時：１０月１６日（日）１３時～１６時（１２：３０開場）

場所：スペースたんぽぽ（水道橋駅５分　ダイナミックビル４階　TEL０３－３２３８－９０３５）

参加費１０００円　／　賛同費一口1000円

呼びかけ：アジア共同行動（ＡＷＣ）首都圏

東京都港区新橋5−17−7小林ビル２階　全国一般全国協気付　担当０８０－３００６－５３８５

振込み口座　「アジアキャンペーン委員会　００１８０－０－７２２９４４」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・きりとり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■賛同費　　口　　円　　公表　可／否

■氏名（団体）

■連絡先（住所）

■メールアドレス